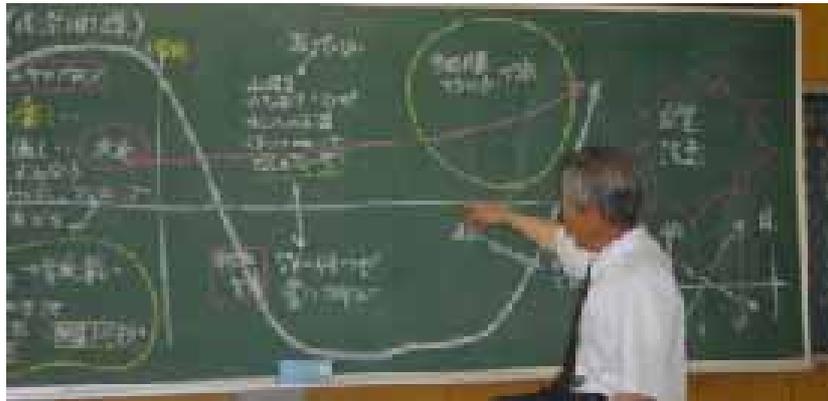


一色町立一色中学校



< 6月17日 >

授業名人の前形原中学校長、足立泰敏先生をお招きして、道徳の見本授業をしていただきました。授業の学習履歴が残る教室で、見本授業をもとにした道徳の授業づくりについて話し合いました。足立先生からは道徳的实践意欲を高揚させる手だてとして、資料分析と実生活分析を平行して行うことや、生活履歴を授業の中に組み入れることを学びました。



< 6月24日 >

授業名人の前形原中学校長、足立泰敏先生をお招きして、道徳の校内授業研究会を行いました。授業後の研究協議会で、足立先生は「この子を変えたいから授業をやる」と言われました。私たちは「生徒たちの意見を関わらせた授業展開」を主眼にした授業づくりを進めてきました。足立先生の言葉で、授業づくりにおける新たな視点に気づくことができました。



< 6月26日 >

授業名人の愛知教育大学教職大学院准教授蜂須賀渉先生をお招きして、数学の見本授業をしていただきました。

蜂須賀先生の今回の授業づくりのコンセプトは、次の3つでした。

導入を工夫する。 スモールステップで行う。 机間指導で大いに誉める。

蜂須賀先生は、授業後の数学部員に対する指導の中で、「私は“どうして”という聞き方はしません。生徒たちに自分の考えとのズレを自覚させるために“それってどういうこと？”と問いかけることが多い。」と言われました。次を拓く発問のあり方について大いに学ぶことができました。



< 7月8日 >

授業名人の前碧南市立東中学校長、生田英一先生をお招きして、英語の校内授業研究会を行いました。学習した現在完了形の経験用法を用いて、コミュニケーション活動に取り組みました。より実際の会話に近づけるために、英語で感想を付け加えたり、聞き取った情報をもとに教師と会話したりしました。そのことで、3年生の基本クラスにおいて、かわり合いを生み出すことができました。